



# パイロットの四季

2009  
11月号

発行 宮城県加美農業高等学校  
校訓 「耕心」  
宮城県加美郡色麻町黒澤字北條一五二  
文部科学省指定農業経営者育成高等学校  
☎〇二二九一六五―三九〇〇



十月二十五日(日)、晴天のもと加美農祭が行われました。当日は開会前から、多くの方々が来校し、オープニングセレモニーを待ちました。会場では、農産物販売、クラスごとの出店、PTAによるモチ販売とカラオケや仮装などの楽しいイベント、そして体育館では各科のプロジェクト展示など、多くの催しがありました。当日は生徒はもちろんのこと、来校された方々にとっても、楽しい一日となったのではないかと思います。



## 加美農祭

**みんなが主役  
加美農祭!**

2009.  
10.25(日)  
9:30~

宮城県加美農業高等学校

当日十時より、加美農祭で恒例になつている

「さわやか会」招待!

「さわやか会」を招待しての催しが行われました。色麻町内に住む七十歳以上の方が参加対象となり、本校の生徒と一緒に文化祭の見学や、折り紙をしながら交流を深めました。さわやか会からの参加者が二十四名に対し、本校の生徒は二十三名で、例年以上にたくさん交流ができました。「来年もまた来たい」という声が多く、参加者の方にとっても楽しい会となったようです。

教諭 星 佳宏





家庭クラブ 研究発表

十月二十八日(水)、宮城県高等学校家庭クラブ連盟主催の研究発表大会が岩沼市民会館で開催されました。

生活技術科二年大沼支穂さんが「妹にこにこ遊び」遊ぶ」と題し、ホームプロジェクトの部に出場。五歳の妹が興味を持って「ごっこ遊び」に着目し、古着を活用した人形の服や、遊びながら小学校入学準備ができるようなおもちゃ作りに取り組んだ成果を堂々と発表し、優秀賞を受賞しました。

教諭 菊地 裕美



家庭クラブ・農業クラブ 県大会結果報告!!

農業クラブ プロジェクト発表

十一月十一日(水)、柴田農林高等学校を会場に、県農業クラブ連盟主催のプロジェクト発表大会が開催されました。結果は次のとおりです。

食料・生産の部(優秀賞)

「世界へ届けときめきワサビ」  
〇〇九 メリクロンワサビ苗の生産供給を目指して」  
佐藤 慎吾 君ほか五名  
(植物バイオ部門)

環境の部(優秀賞)

「ECOポークに挑戦! 酒粕つてすごい!」  
中鉢 祥太 君ほか五名  
(畜産部門)

文化生活的部(奨励賞)

「ときめき和菓子に挑戦」  
橋本 香さんほか五名  
(フードデザイン部門)

本大会に参加した農業科三年の針生拓麻君は「他校生徒の発表が素晴らしく、優秀賞を取れるとは思いませんでした。たいへん嬉しです。」という感想を述べてくれました。

消費生活講座



十一月十日(火)、五・六校時に二年生全クラスを対象に、「弁護士による消費生活法律授業」を本校AV室で実施しました。今年度は、新里・鈴木法律事務所から濱田真一郎先生をお招きし、「消費者問題講義」という演題で講話をしていただきました。

多重債務やクレジットカードの使い方、消費者金融、ヤミ金、悪徳商法など、現在大きな問題となっている事を、事例を紹介しながら説明していただきました。将来自立したときに役立ててほしい、という濱田先生の言葉で講義は終了しました。

現在、クレジットカードの普及度は約三億枚で、現金がなくてもカード一枚で買い物できてしまいます。メリット、デメリットをよく知った上でカードを持つことが大切です。

将来、生徒達が自立した時、今回の講話や授業をよく思い出して、未然にトラブルを思います。

教諭 山崎 麻衣子



収穫の時期を迎えて

実りの季節を迎え、加美農で生徒たちが丹精込めて育てた作物や草花などが収穫の時期を迎えています。

十月初旬から、それらの農産物が様々なイベント会場で販売されました。やはり加美農のリンゴは人気があり、どの会場でもお客さんがごぞつて購入していました。また、農産物の保管方法や調理方法、草花の栽培方法など熱心に耳を傾けていました。

加美農生や先生方が心を込めて育てた植物、農産物が多くの方々を喜ばせ、その成果を消費者と直接やり取りすることで、多くのことを学ぶ素晴らしい機会を生徒達は持てたようです。

十二月の行事予定

十二月

- 一日(火) 路上指導・冬期入寮面接
- 三日(木)～六日(日) 修学旅行
- 十日(木)・十一日(金) 家庭クラブ研究発表

東北大会(山形)

- 十四日(月) 一斉部活動の日
- 十五日(火) 後期生徒総会
- 農ク家ク総会
- 服装指導

- 二十二日(火) 休み前集会・大掃除
- 二十三日(水) 天皇誕生日
- 二十四日(木)～一月六日(水) 冬期休業